

令和6年度学校経営計画書

学校名 三次市立十日市小学校

校長名 古本 宗久

I 学校の状況

学級数	21	児童数	544名	教職員数	57名
メールアドレス	tohkaichi-e@school.miyoshi.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	http://www.school.miyoshi.hiroshima.jp/elementary/tokaichi/				

II 学校教育目標

- 高い志をもち 夢の実現に向けて 自分らしく 他者とともに社会を創る 児童の育成

III ミッション（地域社会における自校の使命・存在意義）

- ミッション 学校に関わる人が幸せになるための仕組みになる。
- スクール ステートメント 学校を変え、常識を変え、社会を変えていく
～ あなたらしく 私らしく、自分らしく 十日市らしく ～
- 育てたい子どもの姿 子どもたちが、自ら学びと生活をデザインする。
- ビジョン 人が輝き、心が動く学校を創る。
- 経営理念 大切な人に誇れる学校であり続ける。

IV 重点事項（努力点）

- 観を磨く グラフィック・変革型ファシリテーションによる指導と、児童の多様な状況に応じた支援を進める。
- 対話を紡ぐ 共同エージェンシーを育て、アウトプットを生み出す対話により児童個々と集団に好影響を与える。
- 組織を繋ぐ 本音で共創するチームワーキングにより、学校の創り手となるリーダーシップを育てる。
- 働き方を宿す イノベーターとして自分らしさを発揮し、自分と他者を変革しエンゲージメントを高める。

V 中心価値・行動規範（十小バリュー A to E）

- Act Boldly 大胆に行動する。
- Build Equal Trust 信頼し、信頼される。
- Create the First はじめてをつくる。
- Do a Professional Work プロフェッショナルであれ。
- Express as a Team チームとして取り組む。

VI 現状分析

本校は、「広島県小学校教科担任制推進事業」「広島県小・中・義務教育学校生徒指導サポート実践校事業」の指定を受け、実践的な研究を進めてきた。

学習指導は、TKFモデル「T・創る」「K・語る」「F・振り返る」に「S・焦点化する」を加え、児童主体の授業改善とアウトプットを促す授業研究により、児童の思考力・表現力は高まり、話す・書く活動は教科等に好影響を与えている。

また、生徒指導は、中間的集団を承認する活動や、特別活動等でエージェンシーを育てる取組により、主体性や協働性が育ってきている。さらに、集団が苦手な児童や学級になじみにくい児童に係り、サポートルームを開設し、児童個々の状況に応じた取組を進めている。

働き方改革は、学年主任会で当面する課題を検討し、分掌部では少人数で継続的な課題に対応するなど、コアチームで取組を進めている。教職員のエンゲージメントは維持傾向で、在校時間は低減傾向である。

しかし、学習指導では、知識・技能の定着に課題があり、生徒指導では、不登校児童が増加傾向であり学校で生活しづらい児童への相談支援体制が必要である。

教職員においては、児童と教職員の共同エージェンシーを高めることが重要である。働き方では、学校経営に参画し文化と仕組みを創るために本音で共創し、自他が変革する組織開発を進めることが未来の働き方に繋がる。

令和5年度の成果と課題を踏まえ、本年度は7点を重点事業として学校経営を進める。

- (1) 授業の基本の「基」充実事業 ファシリテーションとモニタリングによる、授業改善の更新と基礎学力の定着
- (2) 授業研究充実事業 教科・単元の特性と児童の論理を生かした授業構想と実践の内省による、学びの深化
- (3) 生徒指導充実事業 他者との繋がりへのデザインによる、個人と集団のウェルビーイングを高める環境づくり
- (4) エージェンシー育成モデル事業 意思決定と協働による、異年齢交流や行事等を通じたエージェンシーの育成
- (5) 体力づくり充実事業 運動量の確保と生活習慣の確立による、課題を達成する自律性や楽しさを実感する活動
- (6) チームワーキング推進事業 チームの協働的な業務の遂行と、深堀と探索による個の職能成長と組織の成熟
- (7) コミュニティ・スクールモデル事業 地域の人・もの・こと等を活用した体験的な活動による、深い学びの実現

項目	三次市学力到達度検査		生徒指導上の諸問題			教職員の働き方	
	全国を上回った科目	三次市を上回った科目	暴力行為	いじめ	不登校	勤務時間外の月平均在校時間	月45時間以内
令和2年度	14/20	5/20	4	1	5	46時間07分	50.1%
令和3年度	17/20	9/20	12	0	4	36時間46分	71.9%
令和4年度	17/20	13/20	3	0	2	25時間26分	91.5%
令和5年度	13/16	8/16	4	1	8	26時間08分	94.3%

Ⅶ 中期経営目標及び短期経営目標（令和6年度）

中期経営目標		短期経営目標	事業	具体的な取組・方策
確かな学力	指導の個別化と重層化により、児童に生きて働く知識・技能の習得を図るとともに、「書くこと」を重視し思考力・判断力・表現力を育成する。	変革型・グラフィックファシリテーションによる授業改善と、児童がインテイクしたことをアウトプットする学習過程のモニタリングを通して、基礎学力の定着と活用する力の向上を図る。	「基」 授業の基本の 充実事業	○水平型と垂直型のファシリテーションを行き来し、見える化により対話の場をデザインし、表現力を高める。 ○インテイクしたことを、自分なりにできるところまでアウトプットし、話合いのコツ等により広げ深める。 ○授業や家庭学習等で、メタ認知活動を取り入れ、自分の学習を反省的に振り返る意識を高める。
		教科や単元の特質と、児童の論理と思考を生かした授業構想により、学びを広げ深める対話活動と学びを活用する「めあて」と「振り返り」を創り、授業研究会での内省により自分とチームの成長を加速させる。	授業研究 充実事業	○TKFモデルを援用し、「問い」を立て、学習の方向性や目標達成の姿をイメージできる教材研究を行う。 ○多様な考えに触れ、自分の学びを広げ深める対話的な場面を、各教科等の特質や内容に応じて設定する。 ○振り返りで「何を・どのように学んだ」のかを自覚し、様々な場面に活用し、次の学びに向かう意欲を高める。
豊かな心	公共の精神を尊重し、居場所づくり・絆づくりの取組により、児童の自己効力感を高め、自分らしく在り、自分と他者を大切に作る人間関係を育成する。	社会生活に繋がる自律に向けて、児童の抱える多様で複雑な状況に応じて、自分らしく、他者や社会との繋がりをデザインし、個人と集団のウェルビーイングを高める。	生徒指導 充実事業	○学校や社会のルールを守るだけでなく、みんなが楽しく学校生活を送れる文化を創る意識を育てる。 ○児童の抱える状況を把握し、担任や保護者等と連携し、学校生活を安心して過ごせる居場所づくりを行う。 ○ソーシャルスキルに取り組み、人間関係づくりを進め、自分らしさを表出するなど、絆づくりを進める。
		児童が責任をもって、教職員とともに意思決定し、自主性・協働性を発揮する異年齢交流や全校的な活動、学年や学級の活動等を通して、共同エージェンシーを育てる。	エージェンシー 育成モデル事業	○クリエイティブなリーダーシップを発揮し、自分のよさや得意なスキルを生かし、課題に果敢に挑戦する。 ○児童の言動や行動が、他者から認められていると実感できるように、時間を置かず承認する。 ○児童が企画・運営する行事等を、共同エージェンシーにより助言・支援し、自主性や協働性を育てる。
健やかな体	継続的で再現性・模倣性の高い体力づくりの推進と生活習慣の確立により、児童が健康・安全で活力のある生活を送る力を高める。	児童個々の運動量を確保する活動と種目を絞った定期的な体力テスト、生活習慣を整える取組等により、児童が自ら課題をもち、工夫して克服・達成する自律性や意欲、実践力を高め、楽しさを実感し、体力の向上を図る。	体力づくり 充実事業	○新体力テストや体育の運動種目の個人記録を基に、自己目標を設定し、意欲を高め体力の向上を図る。 ○授業前や業間に、縄跳びやサーキットトレーニング等で記録に挑戦するなど、継続して運動に親しむ。 ○タブレットや記録カードを活用し、児童が運動や健康の課題について、克服・達成の仕方を選び、解決を図る。
信頼される学校	学校内や家庭・地域との連携を深め、児童と教職員が、自分自身や、自分と他者・社会との関係を見つめ直し、自分らしさや十日市らしさを見出し、自分や他者、社会を変えていく学校づくりを進める。	本音で共創するチームワーキングにより、中期的な視点で協働的・創発的に業務を進め、常に深掘と探索の視点を見つけ、実現可能な形に変えて行動化し、個々の職能成長と組織の成熟を図る。	チームワーキング 推進事業	○教職員の裁量を拡大し、学校の課題に応じてチームで事業化して企画・実行し、児童や組織等の成果に繋げる。 ○現在実施している業務を、深堀と探索の視点で見直し、対話を通して行動化し、質的な改善を進める。 ○チームの一員としてリーダーシップを発揮し、建設的な意見交換を通して自他を変革し、職能成長を図る。
		地域住民や生産者等、児童の関心深い人物や、自然環境、公共施設、伝統行事等と関わり、学校内外での体験と新しい挑戦や発見の機会、将来の夢の実現に向けた取組により、深い学びを実現する。	コミュニティ・スクール モデル事業	○地域や施設等での体験的な学習を見直し、地域の課題に関心をもち、問いを創り、自分なりに解決を図る。 ○学校内外での新しい体験等を通して、感じたことや考えたことをアウトプットし、地域等に発信する。 ○体験的な活動や見学、また、その際の本質的な問いや一往復半の対話等により、地域の課題に迫る深い学びを実現する。

令和6年度学校経営構想図

MISSION
学校に関わる人が幸せになるための仕組みになる
VISION
人が輝き、心が動く学校を創る

広島県の方針
「ひろしま未来
チャレンジビジョン」
「人づくり」への挑戦
**広島版「学びの革新」
アクション・プラン**
広島で学んで良かった
と思える、日本一の教育
県の創造

学校教育目標
高い志をもち 夢の実現に向けて 自分らしく
他者ととともに社会を創る 児童の育成
十日市中学校区小中一貫教育目標
夢をもち、志を立て、やるべきことをやりきる児童・生徒の育成

三次市教育ビジョン
みよし結芽人
～幸輝心～
高い志をもち 夢や目
標に向けて挑戦し 自立
を図るとともに 多様な
共創により 住み続けたい
まち三次を実現する
心豊かで たくましい
ひとづくり

保護者・地域の願い
「歴史と伝統を引き継ぎ
誇りをもって行動する子
ども」
「社会の一員として積極
的に貢献する志をもった
子ども」
「子どもの笑顔あふれる
安全・安心な学校」

スクール ステートメント
子どもたち学校を変え、常識を変え、社会を変えていく
～ あなたらしく 私らしく、自分らしく 十日市らしく ～
育てたい子どもの姿
子どもたちが、自ら学びと生活をデザインする

中心価値・行動規範
Act Boldly
Build Equal Trust
Create the First
Do a Professional Work
Express as a Team

めざす教職員像
観を磨く 対話を紡ぐ 組織を繋ぐ 働き方を宿す

確かな「学び」

豊かな「育ち」

